

1 私たちの鹿児島県について知ろう！

-1 どんな特徴があるのかな？



私たちの住む鹿児島県は、毎年多くの土砂災害が起こっています。それは、なぜでしょう？
まず、私たちの住む鹿児島県の特徴について学習してみましょう。

鹿児島ってどんなところ？

概要

- ・位置：日本本土の最南端
- ・総面積：9,186平方キロメートル(全国第10位)
- ・構成：薩摩半島、大隅半島の二つの半島と活火山のある諏訪之瀬島や世界遺産の奄美大島、徳之島、屋久島などの特色ある多くの島々からなります

地域特性

①雨が多い地域

一年を通して雨が多く、
鹿児島市の年間平均降水量(30年間)は約2,400mm
に対して昨年の年間降水量は約3,000mmでした。

②強い雨が降りやすい

鹿児島県は、梅雨前線が停滞しやすく、
台風の通り道であるため、6月～9月にかけて、
強い雨が、集中して降り続きます。

③山や丘陵が多く、平地が少ない

鹿児島県は、小さな山がとて多く平野が狭いため、山やがけの
すぐ近くにも家が建てられてきました。



土砂災害の危険と
なりあわせて生活している
人が多いんだね。

雨がたくさん降ると
土砂災害が起きやすくなるんだって。

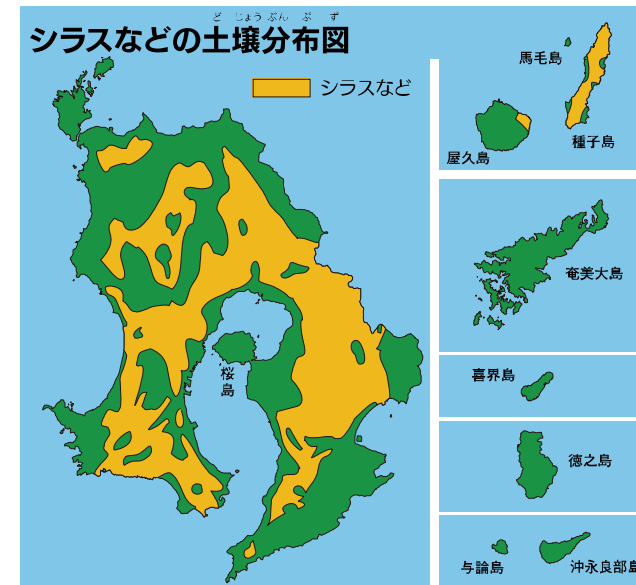
ザザ〜ツ

ゴゴゴ〜ツ

ザザ〜ツ

④火山が作った崩れやすいシラス台地

鹿児島県の本土の半分以上は、大昔の火山噴火活動で積もったシラスなどで広くおおわれています。
シラスなどは、水を含むと崩れやすい性質を持っています。



シラスでできたがけ
(日置市東市来町江口)

※シラスなどが分布していない場所でも、さまざまな条件により、土砂災害が起きています。

⑤桜島などの活火山が多い

鹿児島県は、桜島を代表として、霧島山、
開聞岳など、11の活火山があり、
日本有数の火山地域です。
火山噴火にともなって地震も
起きます。

噴火で地表に
火山灰が積もると、
水が通りにくくなり、
土石流が起こりやすくなるんじゃない？



桜島で発生した火砕流

写真協力：横尾亮彦氏(2009.4.9撮影)



写真提供：国土交通省 九州地方整備局 大隅河川国道事務所

特に、桜島は噴火活動が活発で、噴火したときは、
噴石や火山灰が飛んできます。また、火砕流が発生
することもあります。



諏訪之瀬島

鹿児島県は、雨が多く崩れやすい
シラスなどでおおわれているため、特に土砂災害が起きやすい
地域なんじゃ。